

授業科目名 (英語名)	地域看護学概論 (Community Health Nursing)			
担当教員 (所属)	山崎摩耶(看護学科)			
教育課程	看護学科専門科目・地域看護学			
開講年次	2年前期			
授業形態	講義	単位数	2	必修・選択 必修科目
資格対応				
授業のねらい・概要	地域看護とは何か、わが国と世界の地域看護(公衆衛生看護)の概念と歴史的変遷を学び、その定義や特徴と役割・機能を考える。ヘルスケアシステムの中で地域を基盤として機能する看護活動の実際と、「コミュニティ アズ パートナー」、住民の主体的参加と他の関連職種やサービスとの連携、地区診断から事業化や行政施策に結びつける保健師活動のプロセスなどを学んでいく。			
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域看護の特徴や役割・機能が理解できる</li> <li>2 ヘルスケアシステムと生活の基盤である地域で提供される看護の機能が理解できる</li> <li>3 地域看護の領域と対象別の看護活動の実際が理解できる</li> <li>4 「コミュニティ アズ パートナー」住民の主体的参加が理解できる</li> <li>5 地区診断から事業化、施策に結ぶ就ける一連のプロセスが理解できる</li> </ol>			
授業の計画	第1回: 地域看護とは、その概念と定義・歴史的変遷 第2回: 世界各国の地域看護 第3回: 地域の成り立ちと住民の暮らし 第4回: 地域看護の機能と役割の特徴 第5回: ヘルスケアシステムの中で機能する地域看護 第6回: 地区診断の方法 第7回: コミュニティ アズ パートナー理論 第8回 コミュニティ アズ パートナー・住民参加の方法論 第9・10回: 地域看護活動の実際(保健所) 第11・12回: 地域看護活動の実際(市町村) 第13回: 産業看護 第14回: 学校保健 第15回: 試験			
テキスト教材等	テキスト:「最新地域看護学総論」日本看護協会出版会 参考図書:「国民衛生の動向」厚生統計協会(最新版)、「コミュニティ アズ パートナー」医学書院、「ヘルスプロモーション」医学書院			
授業の形式	講義・演習			
成績評価の方法	2/3 以上の出席を必要とする 筆記試験・レポートで評価する。60 点以上を合格とする。			
履修にあたっての留意点	地域看護学関連科目や地域実習の入り口となる科目ですので、真剣に授業に取り組んでください。欠席届は必ず提出すること(できれば事前に)			
備考				